

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【日進小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	昨年度より、基礎的な・基本的な知識の定着が図られた。しかし学年差・個人差が大きいことが課題である。さらに児童を個別に支援していけるようスクールアシスタントの活用など効果的に進めていく。
思考・判断・表現	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」の項目の肯定的な回答の割合が90%以下である。次年度も「学びの指標」アンケートを実活用し、自分の授業を振り返り、各教員が授業改善を進めていく。
主体的に学習に取り組む態度	「国語の勉強は好きですか。」の項目の肯定的な回答の割合は昨年度に比べてどの学年も多くなった。しかし、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の肯定的な回答の割合は75%以下で低い。来年度も全教職員が教科を決めて課題研修に取り組み、指導訪問以外に一人一公開授業を行い、授業改善を図るとともに家庭と連携して行く必要がある。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「知識・技能」において前年度比1Pt向上させる。	⇒ 児童を個別に支援していけるよう少人数指導やスクールアシスタントの活用など効果的に進めていく。
思考・判断・表現	R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「思考・判断・表現」において前年度比1Pt向上させる。	⇒ 学校カウンセリング研修や学習状況調査校内研修を通して、分析し児童の実態を把握し、指導に役立てる。よい授業アンケートを実活用し、自分の授業を振り返る。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において肯定的な回答の割合を85%以上にする。	⇒ 授業において、興味関心を高めるために既習事項との違いやつながりを明確にしたり、ICTを利用して身近な事例を資料として活用したりする。全教職員が教科を決めて課題研修に取り組み、指導訪問以外に一人一公開授業を行い、授業改善を図る。

<小6・中3> (4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、総合するとR4年度調査より国語-7Ptと下回り、算数+17Ptと上回った。国語では「話すこと・聞くこと」「書くこと」に課題がみられた。	B
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、総合するとR4年度調査より国語+14Pt、算数+4Ptと上回った。算数はどの学年も「変化と関係」に課題がみられた。	A
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において肯定的な回答の割合がどの学年も85%を超えていた。	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+5pt、算数+3ptであった。算数の「数と計算」の領域に課題が見られた。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+3pt、算数+4ptであった。国語の「書くこと」の領域に課題が見られた。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいましたか」の質問項目の、肯定的な回答の割合は88%であった。引き続き授業改善に努めていきたい。

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析 ※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。			
小3	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語±0Pt、算数+10Ptであった。国語の「読むこと」「我が国の言語文化に関する事項」に課題がみられた。	小4	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語-9Pt、算数+10Ptであった。国語の「話すこと」「我が国の言語文化に関する事項」に課題がみられた。
小5	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語-3Pt、算数-6Ptであった。国語の「書くこと」算数の「数と計算」「データの活用」に課題がみられた。	小6	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語+5Pt、算数+4Ptであった。理科の「粒子を柱とする領域」「生命を柱とする領域」に課題がみられた。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし